

2018年3月期 決算説明会

2018年5月8日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

執行役員社長 牛島 祐之

目 次

1. 2018年3月期 実績概要
2. 2019年3月期 業績予想

1. 2018年3月期 実績概要

2. 2019年3月期 業績予想

増収増益を達成

- 売上、営業利益は、3期ぶりに増収増益に転換

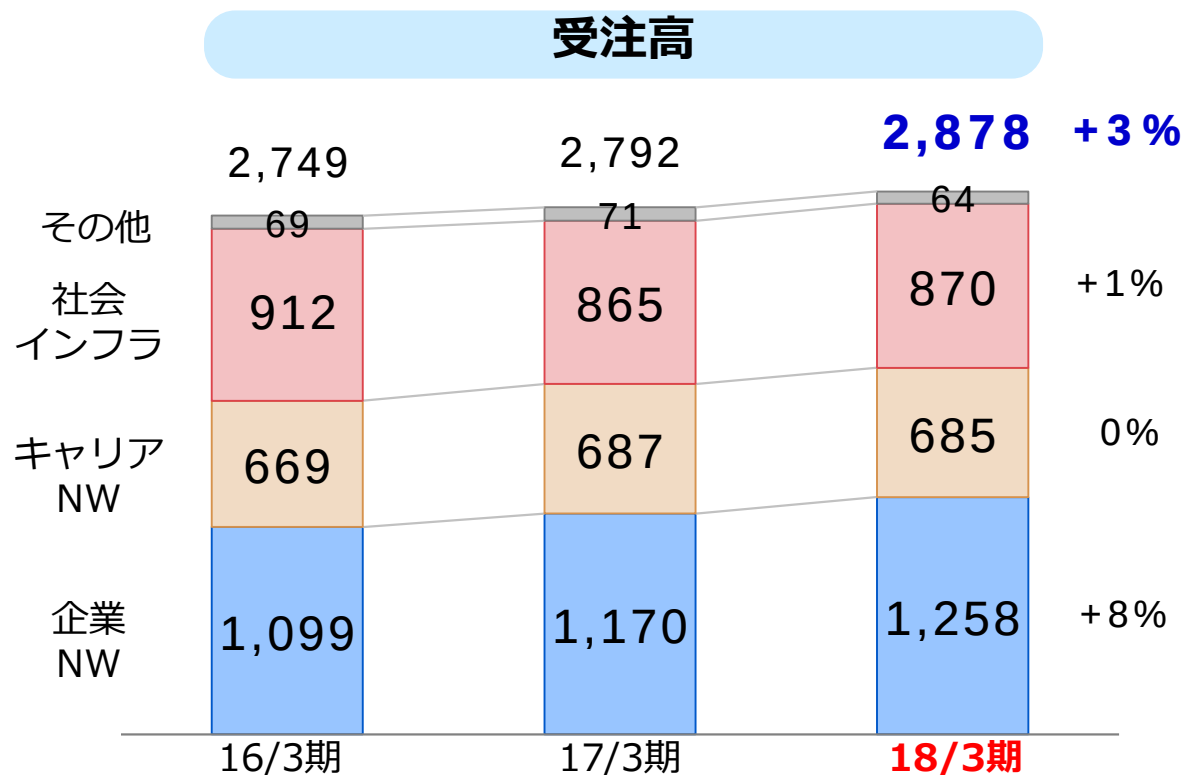
(単位：億円)

	17年3月期	18年3月期	前年差/比	業績予想値 (2018年1月30日)
受 注 高	2,792	2,878	+3%	2,800
売 上 高	2,579	2,679	+4%	2,700
売 上 総 利 益 率	16.5%	16.5%	0.0pt	—
営 業 利 益 (営業利益率)	100 (3.9%)	111 (4.1%)	+11 +0.2pt	105 (3.9%)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (当期純利益率)	65 (2.5%)	74 (2.7%)	+8 +0.2pt	67 (2.5%)
R O E	7.0%	7.6%	+0.6pt	
フリー・キャッシュ・フロー	199	20	△180	

新規メガソーラーPJの獲得により前期比増加

- 企業NW : 下期に入り受注拡大本格化(メガソーラーPJ除き:下期+5%)
- キャリアNW : 通信事業者向けは堅調も、大型保守(2年分)の反動および期ズレ案件の影響により前期比横ばい
- 社会インフラ : 海外受注減の影響も、国内大型案件の獲得により前期比横ばい

(単位: 億円)



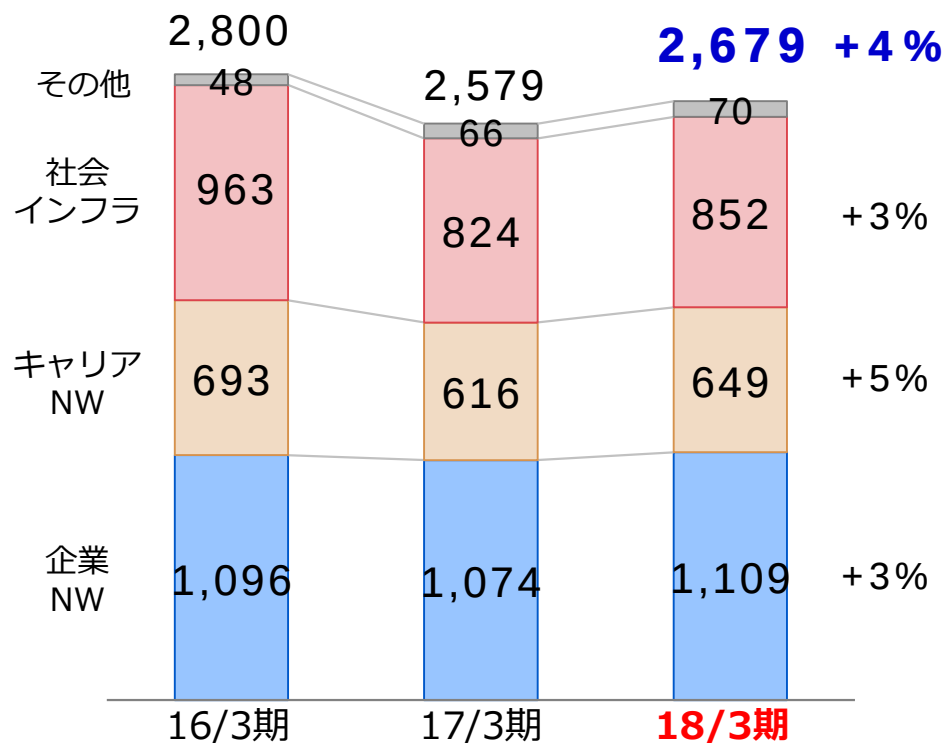
売上高 : 全セグメントで前期比増加

- 前期受注のメガソーラー建設PJが売上貢献

営業利益 : 社会インフラが悪化も企業NW、キャリアNWの大幅改善により、全社で増益

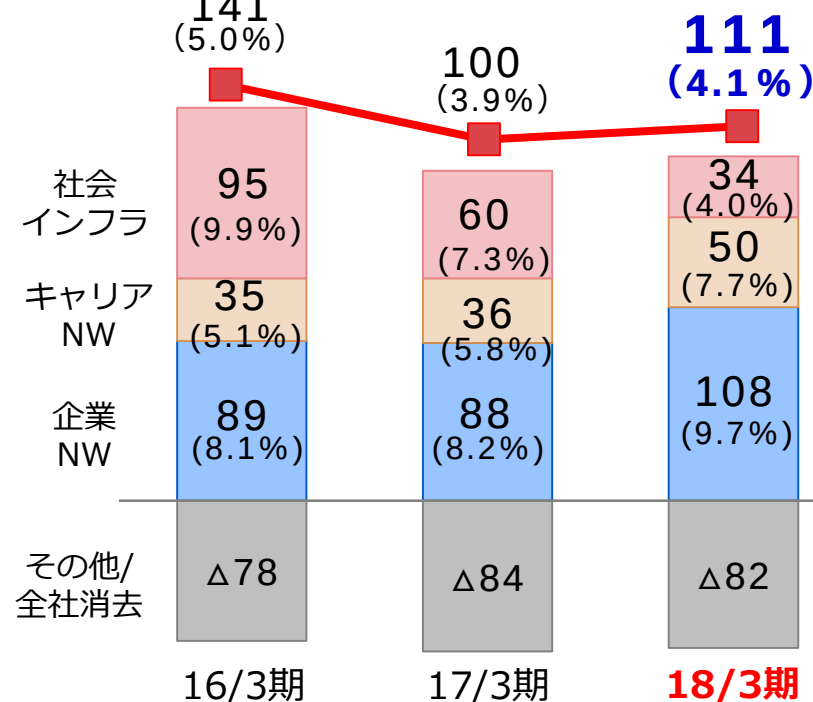
(単位：億円)

売上高



営業利益

()内、営業利益率



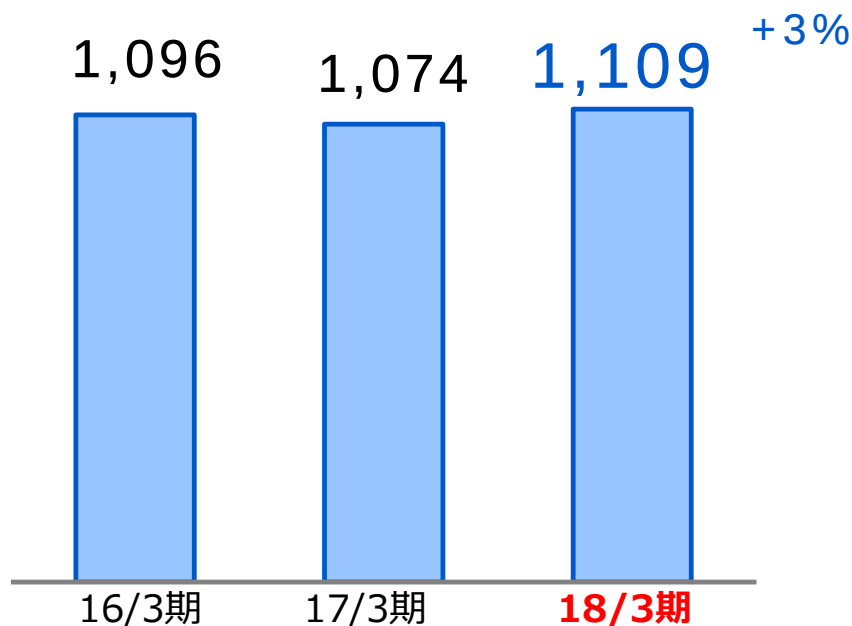
■ 売上高 : 働き方改革関連の拡大やメガソーラー(電気設備領域) が売上貢献し、前期比増加

- EmpoweredOffice売上高 : +6%

■ 営業利益 : 売上MIX改善、原価低減等により原価率が改善

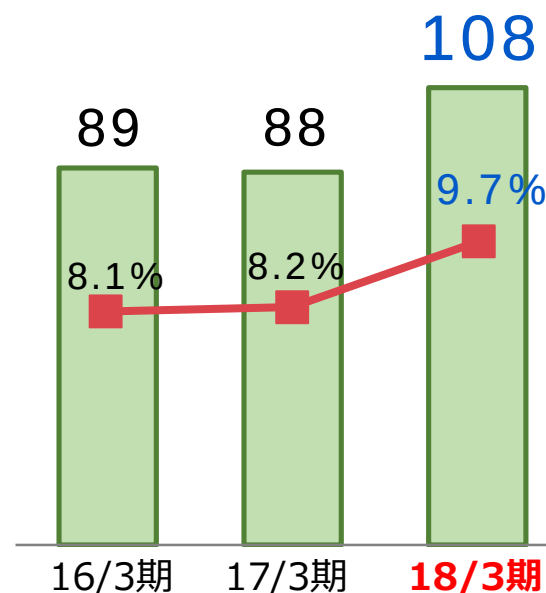
(単位 : 億円)

売上高



営業利益

[—■— 営業利益率]

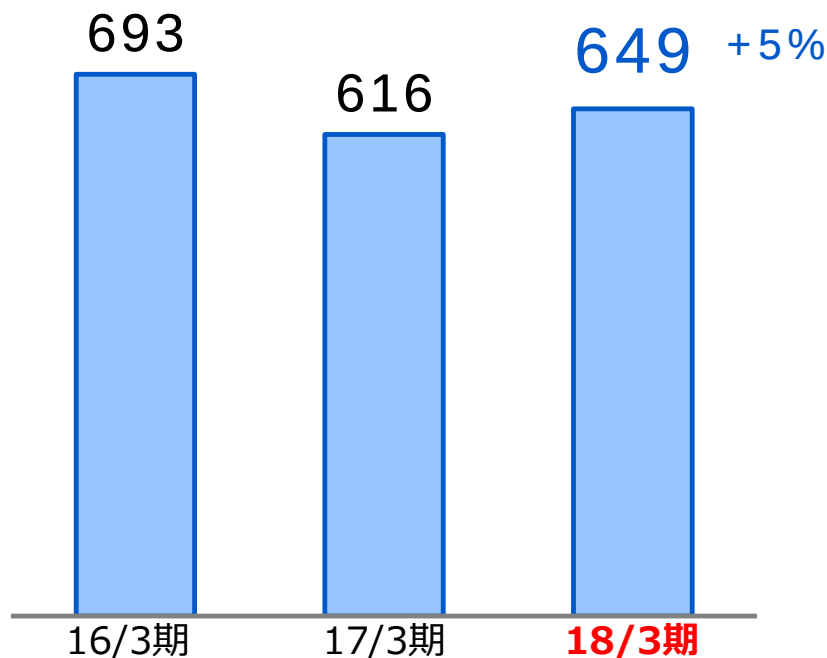


■ 売上高 : 通信事業者向けの拡大やメガソーラー(パネル工事領域)が売上貢献し、前年比増加

■ 営業利益 : コスト構造改革効果に加え、売上増により増益

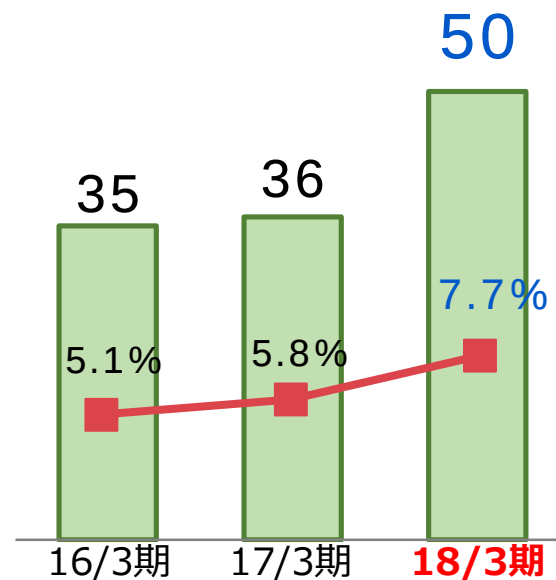
(単位: 億円)

売上高



営業利益

[—■— 営業利益率]

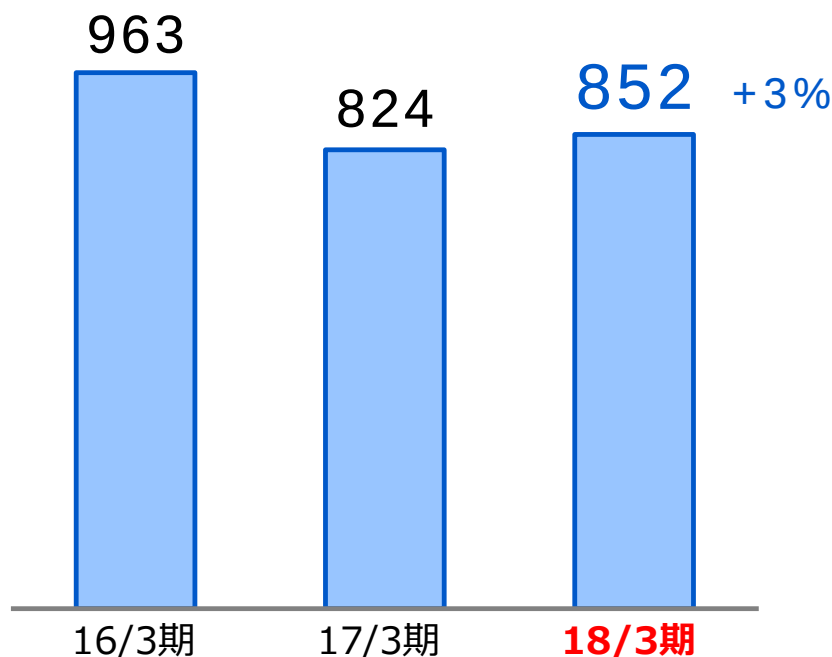


■ **売上高** : 海外事業が減少も、メガソーラー(土木造成領域)の売上が増加し、前期比増加

■ **営業利益** : 成長に向けた費用増(リソース確保、SGA)や不採算案件の影響により減益
(海外鉄道、プラント通信PJ)

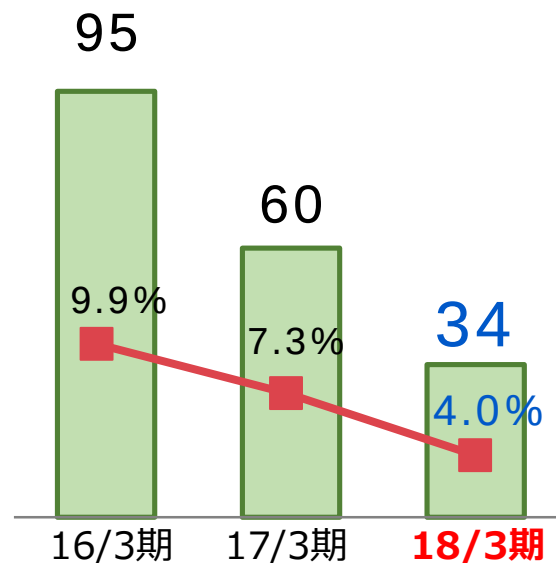
(単位: 億円)

売上高



営業利益

[—■— 営業利益率]



1. 2018年3月期 実績概要

2. 2019年3月期 業績予想

■ 分野ごとに強弱あるも、全体的に堅調

● 企業ネットワーク事業

- ・ 働き方改革ICT市場は拡大（16年→21年 年平均伸率：+8%）※出所：IDC Japan
 - － DX技術(AI・IoT・RPA等)領域の進展
- ※ DX：デジタルトランスフォーメーション

● キャリアネットワーク事業

- ・ 通信事業者の設備投資は、基地局中心に回復傾向

● 社会インフラ事業

- ・ 分野ごとに強弱
 - － 放送・CATV、防災等の領域は拡大の見込み
 - － 消防指令台システムの更新需要が端境期

強くて魅力的な会社の実現に向けた基礎固めの年

No.1、Only 1事業の創出

●最先端技術領域の事業強化

- ・ DX技術(AI・IoT・RPA等)の積極活用
- ・ CVCの活用による新規事業の創出加速

※CVC：コーポレートベンチャーキャピタル

●次期中計のスタートダッシュに向けて成長投資を推進

●全ての事業活動をゼロベースで再点検

- ・ 他社を凌駕する品質・コスト・スピードを目指す

大型プロジェクトの着実な遂行

2019年3月期 業績予想サマリー

働き方改革関連、メガソーラーなど注力分野の拡大で 増収増益を目指す

- 次期中計に向け、積極的に成長投資を実施
- 受注高は、メガソーラーの影響を除くと+6%増加

(単位：億円)

	18年3月期 実績	19年3月期 予想	前年差/比
受 注 高	2,878	2,900	+1%
売 上 高	2,679	2,800	+5%
営 業 利 益	111	115	+4
(営業利益率)	(4.1%)	(4.1%)	0.0pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	74	75	+1
(当期純利益率)	(2.7%)	(2.7%)	0.0pt

2019年3月期 業績予想 (セグメント別)

■ **売上高** : 企業NW、キャリアNWを中心に全社で増収を目指す

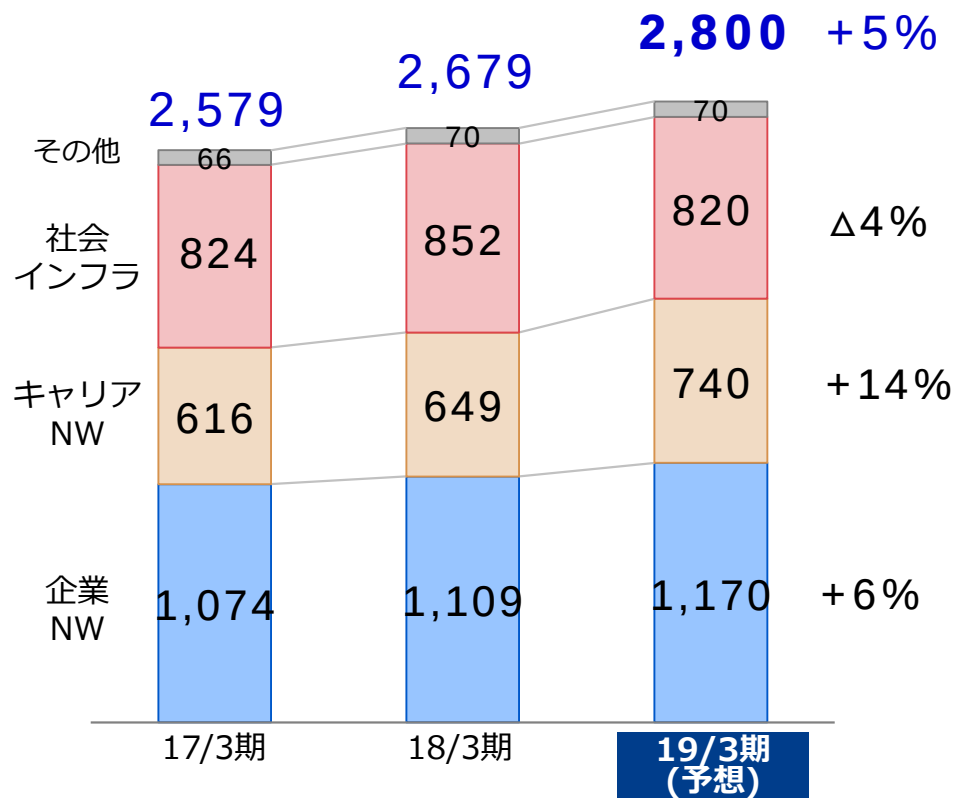
■ **営業利益** : 全セグメントで増益を目指す

- ・ 積極的な成長投資を実施…企業NW(DX分野)
全社共通(教育/情報化)など

(単位: 億円)

売上高

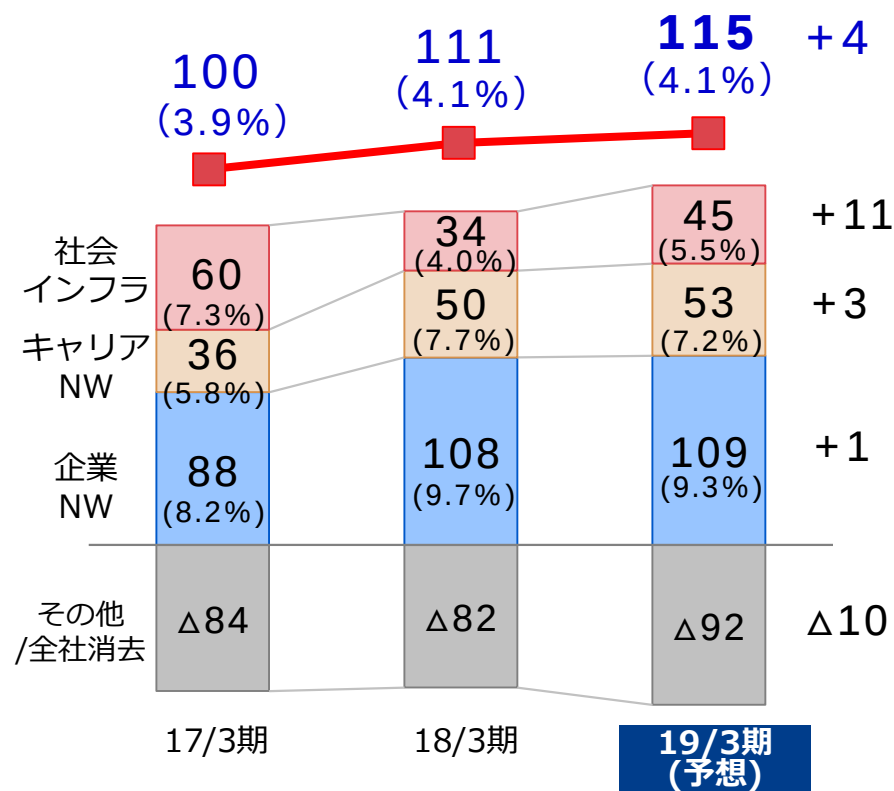
前年比



営業利益

()内は、営業利益率

前年差



先端技術領域の事業強化

●デジタルトランスフォーメーション(DX)への対応強化

全社横断プロジェクトとして結集、早期事業化

保有技術
(CAMBRIC)

Cloud、AI、Mobility、
BigData、Robotics
IoT、Cyber security



事業基盤
/アセット

- ・ ICTサービス提供基盤
…データセンター、nTOC、
SOC、MVNOなど
- ・ NW技術、顧客基盤

強固な財務基盤
を活かし積極投資
(DX基盤、サービス開発)

オープンイノベー
ションの推進

成長市場に対しNo.1、Only 1 サービスを矢継ぎ早に投入
次の事業の柱として成長市場で強いポジションを確立

●CVCファンドによる国内外先端ベンチャー投資の積極化 ーグローバルオープンイノベーションの加速

- ・ 「ネッツ・イノベーション・ベンチャー有限責任事業組合」を設立
- ・ 2月運用開始後、1号案件として米Boomtown社への投資を決定

Boomtown Network, Inc (米国カリフォルニア州：2014年設立)

AIなどの最新技術を活用した**オムニチャネル対応のコンタクトセンター**と、**シェアリングエコノミー**の概念を取り入れたオンサイトサポート網とを組み合わせた**次世代サポートサービス**事業を展開するベンチャー企業



NECネットズエスアイ

北米で実証されている効率化されたサポートサービス

- ・オムニチャネル対応コンタクトセンター
- ・「**シェアリングエコノミー**」の概念を取り入れたオンサイトサポート網

日本全国対応のサポートサービス基盤

最新的手法/技術を取込み、当社サポートサービス事業を改革し、マーケット拡大

大手企業や大手クラウドサービスベンダー向けに提供してきた全国対応サポートサービスを中小企業や中小クラウドベンダー、スタートアップ企業に展開

キャリアNW事業の再成長に向けて

●キャリアインフラへの深耕・拡大

- ・モバイルインフラ事業の再強化
 - －基地局施工体制の再構築
 - －置局設計、全国保守などの強みを生かしたマーケット深耕
- ・5Gを見据えた新たな技術への対応力強化
 - －仮想化、NWスライシングなど

●保有技術(ソフトSI)の他市場展開強化

- ・ホテル、文教、医療、自治体をターゲットとした受注活動強化
 - －ホテル：新築、リニューアル需要
 - －文教/医療/自治体：ICT基盤刷新、建替え需要
- ・iSGM連携でのソフトウェア関連事業強化（オープンBA※等）

※iSGM：当社ミャンマー子会社(ICT Star Group Myanmar Co., Ltd.)

※BA：ビルディングオートメーション

継続するメガソーラー需要への対応強化

- X-Elioプロジェクトの完遂（予定通り上期中に完工予定）
- X-Elioで実証したPJ対応力、新たに獲得したノウハウを他のプロジェクトへ展開し、着実に実行



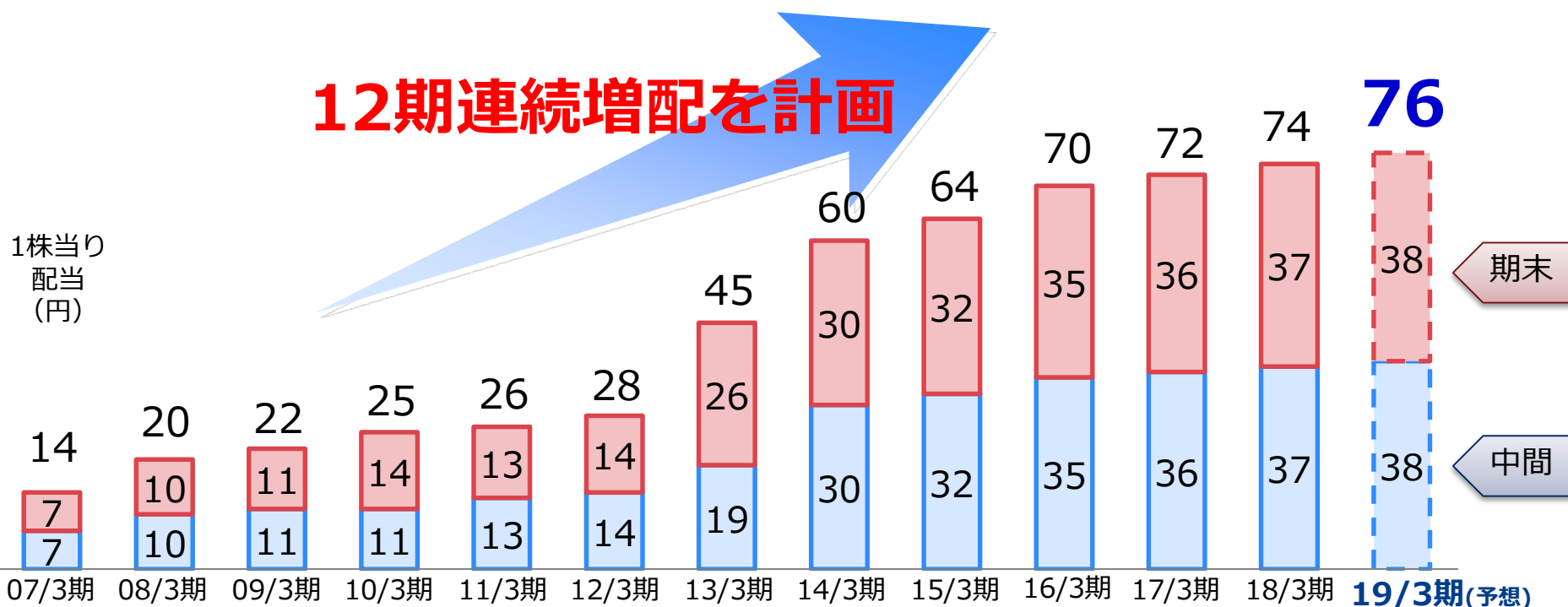
● 高水準で推移するプロジェクトへの積極的受注活動

◆ 19.3期受注に向けた引き合い案件（総計200億円超）

配当について

成長投資による企業価値拡大と同時に、安定配当をベースに株主還元を継続的に拡大

- DOE(自己資本配当率)を考慮
- 18/3期：計画通り期末配当37円/株（年間74円）
- 19/3期：年間76円/株へ増配



強くて魅力的な会社へ

夢と高い志

イノベーション

強みを磨く

コンプライアンス最優先の事業遂行

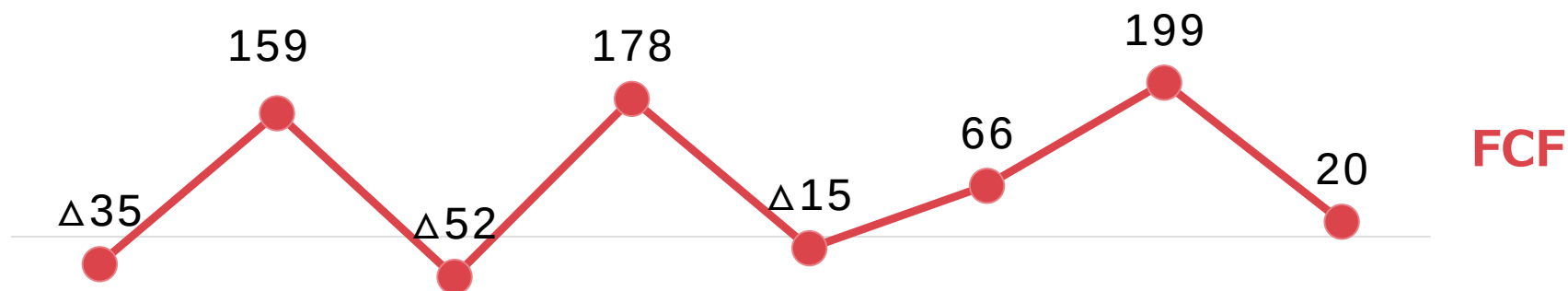
(参考)2018年3月期(18年3月末) バランスシート

(単位：億円)

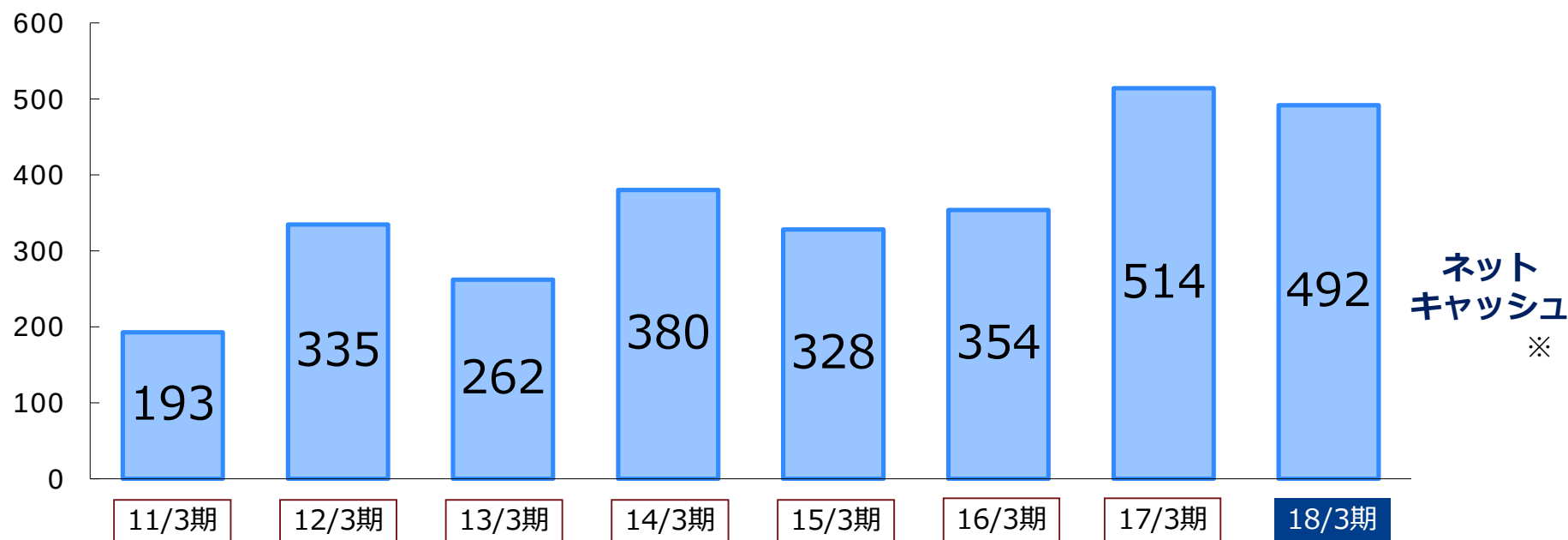
			17年3月末	18年3月末	増 減
		現金及び現金同等物	596	573	△24
		受取手形及び売掛金	912	1,044	133
		たな卸資産	85	82	△3
		その他流動資産	97	98	1
	流動資産合計		1,690	1,797	107
	固定資産合計		285	283	△2
	資産合計		1,975	2,081	106
		支払手形及び買掛金	365	403	38
		借入金	83	81	△2
		その他負債	561	579	19
	負債合計		1,008	1,063	55
		株主資本合計	1,001	1,039	37
		その他の包括利益累計額	△55	△44	11
		非支配株主持分	21	23	2
	純資産合計		967	1,017	51
	負債純資産合計		1,975	2,081	106
	自己資本比率		47.9%	47.8%	△0.1pt

(参考)2018年3月期 キャッシュ・フロー

(単位：億円)



(単位：億円)



※ネットキャッシュ＝現金および現金同等物（含む有価証券）－借入金

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

本資料に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

 **Orchestrating** a brighter world

NEC

NEC ネットエスアイ

www.nesic.co.jp